

## 平成 29 年度 「教育の質向上プロジェクト」 成果報告書

1. 取組名称（含副題）	全学対応教育学生指導支援 WEB システムの開発
2. 取組学部等名	理工学部
3. 取組代表者／取組者	取組代表者 加鳥裕明 取組者 齊藤公明, 新井宗之

### 4. 取組の概要

学生への教育指導支援を目的とする情報技術を活用した WEB システム（通称：PASTEL）の全学部対応システムの構築である。この WEB システムは、教員側の学生への教育指導を支援するために、個々の学生の履修状況が閲覧できるとともに個々の学生の情報交換や情報共有することができるシステムである。また、独自の（JABEE に対応した）授業アンケートをすることができる等の機能がある。さらに、全学部対応とともに学生の履修状況を教育課程に沿った履修状況の表示や学科ごと（クラスごと）の学生の履修状況の一覧、また成績不振学生の表示等の機能を追加して学生への教育指導に役立てようとするものである。

### 5. 実施計画（期日と計画内容を箇条書きで示すこと）

#### （1） 4月～7月：全学対応への改修

この WEB システム（PASTEL）は理工学部での対応はできているものの全学的な対応の確認はできていない。このため他学部の学生履修データ等のデータ分析を行い、システムの改修を行うとともに、WEB システム（PASTEL）にデータをインポートして動作確認をする必要がある。この作業を7月末までに行う。

#### （2） 4月～10月：追加機能の開発

##### (i) 教育課程一覧に沿った単位取得状況表示の開発

並行して、学生の単位取得状況を教育課程一覧に沿った表示にし、どの分野の単位が何単位不足しているかなど分かりやすい表示にする機能を開発する。

##### (ii) 学科（クラス）別単位取得状況学生一覧表示の開発

また、学科（クラス）ごとに単位取得状況の学生一覧を表示し、成績不振学生を分かりやすい表示にする等の機能を開発する。理工学部2学科、文系学部1学科程度に対応するものを10月末までに開発する。

#### （3） 11月～1月：全体の機能チェックと調整

全体の機能チェック、調整等を1月末までに実施する。この WEB システム（PASTEL）は、内部の構造がかなり複雑になっているため既存の機能と関連する機能を追加する場合、他の機能への影響等を調べる必要がある。全ての関係をチェックすることは難しいがおもな事項をチェックし、問題があれば修正する必要がある。このためには少々時間を要する。

### 6. 取組の実績

- ① これまで教育・学生指導の目的でこの WEB システムで学生の履修状況を閲覧することができていた。この表示は経年的、羅列的な表示のため、それぞれの授業科目の単位取得までの経緯等を知る上では有用であるが教育課程との関連で学生の履修状況を知る上では難があった。これを教育課程一覧による履修状況として表示し、合わせて学生便覧の卒業要件、卒業研究着手条件の充足状況等も表示する機能を加えた。これにより学生の教育課程に沿った履修状況として把握することの一助となった。
- ② 卒業要件による単位取得状況、卒業研究着手条件の充足状況を学科・学年別の学籍簿順による一覧表示の機能を

加えた。また、表示には、例えば卒業要件の充足状況表示においてそれぞれの分野の充足、非充足で背景色を変える表示にして視覚的にも充足状況を把握し易いようにしている。

- ③ 履修科目の取得単位数順による卒業要件の充足状況等の学科・学年別の学生一覧表示の機能を加えた。この取得単位数順の表示は、降順（単位数の多い学生から少ない学生順）と昇順（取得単位数の少ない学生から多い学生順）の表示がありどの学生が単位数の少ない学生か等を分かり易く表示し、学生への教育・指導に供することができる。この一覧には卒業要件充足状況等の一覧も含まれる。
- ④ 履修科目の平均点順による学科・学年別の学生一覧表示機能を加えた。この平均点順による表示は、降順（平均点の高い学生から低い学生順）と昇順（平均点の低い学生から高い学生順）の表示があり、個々の学生が成績上位か下位か等の情報を提供する。
- ⑤ 学科・学年別の学籍簿順、取得単位数順、科目平均点順の一覧には入学時の入試形態と出身高校も表示している。在学生の履修・成績状況と入試形態等の情報を提供し、受け入れ学生の選考や入学後の指導配慮の一助としている。

## 7. 具体的な成果（所属部局への教育改革の影響・学生の評価を含めて）

- ① 教育課程一覧による個々の学生の履修状況が把握できるとともに卒業要件の充足状況が分かるため、例えばゼミの学生との話し合いの中で卒業へ向けた単位取得に関し個々の学生との情報共有ができる。
- ② 成績不振者の指導に関し、学務センターから指導学生について提示があるが、指示された学生に関して教育課程一覧による単位取得状況の把握や入学形態、出身高校等の情報も取得できるため個別の学生に対しより適切な指導ができる。
- ③ 上記②に関連し、上記以外の成績不振者の情報が単位取得数順、平均点による成績順により得られるため、授業や定期試験等において注意喚起等の指導が容易となっている。
- ④ 単位取得数順の一覧や科目平均点順と入試形態、出身高校のリンクした情報により、入試等による受け入れ学生等の判断の情報提供となる。

## 8. 平成 30 年度以降の取組の展開

この教育学生指導支援 WEB システムは平成 29 年度において、理工学部 2 学科（社会基盤デザイン工学科、材料機能工学科）および理工学部以外の学科 1 学科（経済学部経済学科）を対象にシステムの追加機能の開発を行った。平成 30 年度以降は経費・予算範囲内で対象学科を増やしていく考えである。ただ、画一的に同じ機能を付加するよりも、対象とする学科固有な要望を考慮した開発が望ましいと考える。このため今年度と同じ機能の追加ではなく、対象とする学科に応じた機能を予算・経費内で追加検討する。

## 9. 本取組を今後、他学部等が採用した際に見込まれるメリット

教育学生指導支援 WEB システムには、今回追加機能として教育課程一覧による履修状況の表示等を述べているが、この WEB システムは学生に関する情報を多く取得できるとともに教員間の情報交換も可能なシステムとなっているため、個々の学生の全体的な状況把握を助ける機能があるといえる。また、在学生の履修学習状況と入試形態、出身高校とのリンクした情報により推薦などの入試戦略の判断資料の一助となる情報を提供することができる。

## 10. その他の特記事項

特になし。